

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【公表番号】特表2009-526817(P2009-526817A)

【公表日】平成21年7月23日(2009.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-029

【出願番号】特願2008-554769(P2008-554769)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/423 (2006.01)

A 6 1 K 31/538 (2006.01)

A 6 1 K 31/4709 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/56 (2006.01)

A 6 1 K 9/72 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 15/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/423

A 6 1 K 31/538

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/56

A 6 1 K 9/72

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/10

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 15/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 11/08

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月15日(2010.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

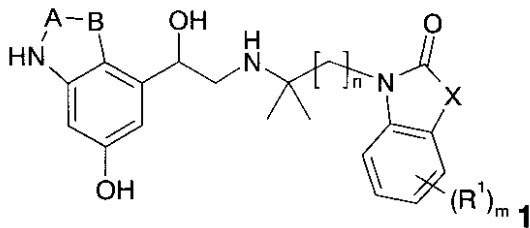
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式1の一つ以上の化合物に加えて、少なくとも一つの他の活性物質2を含有する医薬組成物

【化1】



(式中、nは、1、2、3又は4であり；

mは、1、2又は3であり；

Xは、CH₂、CO、NR²、S又はOであり；

Aは、CO、SO又はSO₂より選ばれる二重結合基であり；

Bは、O、S、CH₂、CR³R⁴-O、CR³R⁴-S、NR⁵、CR³R⁴-NR⁵、CH=CH又はCH₂-CH₂より選ばれる二重結合基であり；

R¹は、H、C₁₋₆-アルキル、C₂₋₆-アルケニル、C₂₋₆-アルキニル、C₃₋₆-シクロアルキル、C₁₋₆-ハロアルキル、O-C₁₋₆-ハロアルキル、ハロゲン、OH、CN、NO₂、O-C₁₋₆-アルキル、COOH又はCOO-C₁₋₄-アルキルであり；

R²は、H、C₁₋₆-アルキル、C₁₋₄-アルキレン-C₆-C₁₀-アリール又はC₁₋₄-アルキレン-C₃₋₆-シクロアルキルであり；

R³は、H又はC₁₋₆-アルキルであり；

R⁴は、H又はC₁₋₆-アルキルであり；

R⁵は、H又はC₁₋₆-アルキルである)。

【請求項2】

式1の一つ以上の化合物に加えて、他の活性物質2として抗コリン作用薬(2a)、PDEIV阻害剤(2b)、ステロイド剤(2c)、LTD4拮抗薬(2d)及びEGFR阻害剤(2e)の種類より選ばれる一つ以上の化合物を含有する、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

一般式1の一つ以上の化合物を個々の光学異性体、個々のエナンチオマー又はラセミ体の混合物の形で含有する、請求項1又は2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

一般式1の一つ以上の化合物を薬理的に許容され得る酸による酸付加塩の形で含有し、所望により、溶媒和物及び/又は水和物の形で含有してもよい、請求項1～3のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項5】

一般式1の一つ以上の化合物に加えて、他の活性物質2として抗コリン作用薬(2a)を含有する、請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項6】

一般式1の一つ以上の化合物に加えて、他の活性物質2としてPDEIV阻害剤(2b)を含有する、請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項7】

一般式1の一つ以上の化合物に加えて、他の活性物質2としてステロイド(2c)を含有する、請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

1の治療的に有効な量に加えて、抗コリン作用薬(2a)の治療的に有効な量及びPDEIV阻害剤(2b)の治療量を含有することを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

1の治療的に有効な量に加えて、抗コリン作用薬(2a)の治療的に有効な量及びステロイド(2c)の治療量を含有することを特徴とする、請求項1～6のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

1の治療的に有効な量に加えて、PDEIV阻害剤(2b)の治療的に有効な量及びステロイド(2c)の治療量を含有することを特徴とする、請求項1～4のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

吸入に適した製剤の形であることを特徴とする、請求項1～10のいずれか1項に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

吸入用粉末、噴射剤含有定量エアゾール及び噴射剤を含有しない吸入用溶液又は懸濁液を含む群より選ばれる製剤であることを特徴とする、請求項11に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

炎症性及び閉塞性呼吸器疾患の治療用、助産術における早期分娩の阻止(子宮収縮抑制)用、房室ブロックにおける心臓の洞律動の回復用、徐脈性心拍障害の修正(抗不整脈)用、循環ショックの治療(血管拡張や心臓容積の増大)用、また、皮膚刺激や炎症の治療用の医薬組成物を調製するための請求項1～12のいずれか1項に記載の医薬組成物の使用。

【請求項 14】

種々の原因の閉塞性肺疾患、種々の原因の肺気腫、拘束性肺疾患、間質性肺疾患、嚢胞性線維症、種々の原因の気管支炎、気管支拡張症、ARDS(成人呼吸窮迫症候群)及び全ての様態の肺水腫を含む群より選ばれる呼吸器疾患の治療用の医薬組成物を調製するための請求項13に記載の使用。